

わがまち自慢② 「賀茂川の源流を守る」

仁賀町は、竹原市内の水道水の3分の2を供給する賀茂川水系の源流にあります。私たちの生活に欠かせない水を送り続ける賀茂川の、源流を守る取組みが行われています。

平成13年に設立した「賀茂川の源流を守るネットワークにか」は、賀茂川の清流を生み出す山やきれいな水を守る活動として、賀茂川源流探訪、植樹会、草刈り整

備、炭焼き体験教室などを行っています。

代表の天内茂樹さんは、「賀茂川の源流を守ることは、森や水を守ること。森は間伐し整備してこそ山の保水力が高まり、水がきれいになる。水を守ることは、上流である仁賀に住む者の使命だと思おう」と言います。

「昔の人の環境にいい習慣を伝えなくては」と



始めた炭焼きは、間伐した木を3日間燃やし、10日間冷まして取り出します。時間と手間のかかる作業にも、環境を守るため積極的に取り組んでいます。

また、平成24年2月には仁賀ダムが完成。水を絶え間なく供給するために必要なダムとの共存も必要不可欠です。

初夏にはホタルが舞う仁賀町。自然の恵みと、自然を守り伝える取組みは、後世に残し伝えていきたい宝物ですね。

かぐやパンダ通信



ゆるキャラ仲間と桜の下でPR

4月21日(日)、かぐやパンダは広島市佐伯区で開催された「さえき桜まつり」に出かけました。

かぐやパンダ登場スケジュール

- 5月12日(日) マツダスタジアム
 - 6月1日(土) 忠海ゆかた祭り
 - 6月2日(日) たけはら火力発電所
- 1日開放デー

心配されていた天気も良く、きれいな桜と多くの家族連れ、そしてゆるキャラ仲間にも囲まれ、ごきげんなかぐやパンダ。ステージでは、自己紹介もさせていたできました。

障害について理解を深めるきっかけになることを願って、市外でもかぐやパンダは頑張っています。

ティータイム

4月から広報担当になりました。仁賀町に取材に行き、木彫り看板の妖精たちを紹介してもらいました。8つの異なる妖精たちの看板を、みなさんも探してみませんか。

②



人のうごき

(住民基本台帳登録者数)

人口	28,525人
男	13,542人
女	14,983人
世帯	12,864世帯
1年前	28,667人
5年前	30,278人

— 4月1日現在 —

市政発展のための「ご意見などをお寄せください」

郵便 〒725-8666 (住所不要) 竹原市企画政策課

「市長への私の提案」係 FAX 22-0998

※市ホームページ「市長の部屋」から電子メールでも送信できます。ご意見等は「市長の部屋・掲示板」にて公表させていただきます。

